

北イタリア安全対策情報
2020年1月～3月

1 治安情勢

昨年12月、ミラノ市内で犯行を重ねた女性中心のスリグループが検挙（解体）された旨の報道があったが、本年に入っても、女性グループによるスリ被害が散見された。また、ブティック街で知られるモンテナポレオーレ周辺では、スリ事件を端緒とした強盗致傷事件が発生した。その一方で3月は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動制限措置により外出が困難となり、被害の発生が2件であった。

イタリア国内でテロの発生はなかったが、治安当局では2月、ボローニャ在住のチュニジア人男性を国際テロ目的の活動に向けた自己訓練の疑いにより検束しており、予断を許さない状況が続いている。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

ミラノ地下鉄内での女性グループによるスリ被害が散見されたほか、昼間帯におけるブティック街での強盗致傷事件や年末・年始休暇中での空き巣被害が発生した。

(1) スリ15件（参考：10月～12月は28件）

ア 地下鉄電車内にて、女性に電車の行き先を尋ねられている隙に他の女性にバッグ内から旅券等を擦られた（複数）。

イ 地下鉄電車内にて、複数の女性に囲まれ、注意を奪われている隙にショルダーバッグ内から旅券等を擦られた（複数）。

ウ ミラノ中央駅構内にて液体物をかけられ、そのことを教えてくれた男性に気をとられている隙に旅券等在中のバッグ一式を盗まれた。

(2) 置き引き5件（同6件）

ア ボローニャ市内見本市（フィエラ）会場のVIPラウンジで商談中、空テーブルに置いたバッグ一式が盗まれた。

イ ミラノ市内のフィエラ会場で商談中、床に置いたバッグが盗まれた。

ウ パドバーミラノ間の長距離列車内において、犯人によって床にばらまかれた小銭に注意を奪われ、その隙に他の仲間にバッグを盗まれた。

(3) 車上狙い2件（同1件）

ア ミラノ市内を運転中、スクーター（犯人乗車）と接触したことから、両当事者が降車して接触箇所を確認していた際に、助手席に置いていたハンドバッグが盗まれた。

イ リナーテ空港付近にて、レンタカーから降車してパンクを確認中、2人組の男性が手助けを申し出てきたところ、トランク内からバッグを盗まれた。

(4) 侵入盗1件（同0件）

年末、年始の長期休暇中、空き巣犯に特殊な器具を利用して被害者宅の鍵穴情報

が盗まれ、合鍵により侵入され財物を盗まれた。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

モンテナポレオーレ付近において、邦人を被害者とする強盗致傷事件が発生した（以下（1））。

日本人以外の被害が発生した事件の一例は（2）以下のとおり。

（1）強盗致傷

1月13日（月）午後4時ころ、邦人夫婦がモンテナポレオーレ付近を散策中、妻（58歳）のカバンが外国人男性に擦られそうになったことから、夫（61歳）が制止したところ、顔面を頭突きされ唇を切る強盗致傷事件が発生した。被害品はなく、夫の負傷程度は軽症であったが、犯人はいずれかに逃走。

（2）殺人未遂

3月31日（火）

ミラノ市内にて、ホームレスのモロッコ人男性（30歳）がアルジェリア人少年（19歳）と口論の末、同少年の腹部をナイフで殺傷した事件が発生。同男性は、殺人未遂容疑で、警察に逮捕された。

（3）強盗

3月21日（土）

ミラノ市内の薬局店において、18歳少年が拳銃を利用して、約250ユーロを強奪した事件が発生。後日改悛した少年は自らの犯行をSNSに投稿した結果、3月31日、警察が身柄を確保した。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当地におけるアジア人に対する風評被害が散見される中、2月29日深夜、トリノに留学中の邦人女性が路線バスに乗車中、乗客の外国人に暴言を吐かれるなどして、バスの運行が一時ストップする事案が発生し、地元紙に報道された。

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし